

資料1 調査票

離島の高齢者福祉に関する意識調査

調査主体

香川大学教育学部 室井 研二（代表）

（連絡先） TEL 087-832-1432

muroi@ed.kagawa-u.ac.jp

実施 2011（平成23）年 9月

調査へのご協力お願い

このアンケート調査は、離島にお住みの高齢者の方々の生活状況を把握し、地域の福祉課題をさぐることを目的とした学術調査です。

本日、アンケートにお答えいただくためにお伺いしたのですが、ご不在でしたので、調査票をポストにお入れします。お手数をおかけして誠に恐縮ですが、何卒ご回答いただきますよう、お願い申し上げます。回答済みの調査票は同封の返信用封筒にお入れいただき、ご投函ください。

回答方法は簡単です。設問文を読み、解答欄のあてはまる番号に○をつけてください。ご回答いただいた事柄はすべて数字化し、誰の回答か特定できなくしますので、プライバシーの面でご迷惑をかけることは絶対にありません。安心してお答えください。

回答はかならず宛名の方ご本人がおこなってください。もしご本人がやむを得ない理由でご回答できない場合は、調査票の表紙にその旨をお記しいただき、白紙のままご返送ください。

もしなにかご不明な点がございましたら、遠慮なく上記の連絡先にご連絡ください。お忙しいところおそれいりますが、公益性の高い調査なので、ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

問1 あなたの家族関係についておたずねします。あなたには、現在、ご存命のお子さんがおられますか。

1. いる（→問1-1へ） 2. いない（→問2へ）

問1-1 （お子さんがいる方のみ） お子さんはどこにお住みですか。あてはまるものすべて○をつけてください。

1. 同居している 2. 島内の別の家 3. 丸亀市内（広島のごく）
4. 香川県内（市町名 ） 5. 香川県外（都道府県名 ）

問1-2 (お子さんがいる方のみ) 島外に別居されているお子さんとは、日ごろどれぐらい行き来がありますか。もっともあてはまるものに○をつけてください。

1. ほぼ毎日
2. 週に2~3回
3. 週に1回程度
4. 月に1~2回
5. 2~3ヶ月に1回
6. 盆や正月ぐらい
7. 行き来はほとんどない

問2 あなたには現在、ご存命のごきょうだい(兄弟姉妹)がおられますか。

1. いる(→問2-1へ)
2. いない(→問3へ)

問2-2 (きょうだいがいる方のみ) ごきょうだいの方はどこにお住みですか。あてはまるものにすべて○をつけてください。

1. 同居している
2. 島内の別の家
3. 丸亀市内(広島のぞく)
4. 香川県内(市町名)
5. 香川県外(都道府県名)

問2-3 (きょうだいがいる方のみ) 島外にお住みのごきょうだいの方とは、日ごろどれぐらい行き来がありますか。もっともあてはまるものに○をつけてください。

1. ほぼ毎日
2. 週に2~3回
3. 週に1回程度
4. 月に1~2回
5. 2~3ヶ月に1回
6. 盆や正月ぐらい
7. 行き来はほとんどない

問3 島での生活についてお尋ねします。あなたは日頃、どれぐらい外出されていますか。

1. ほとんど毎日
2. 週に3~4日ぐらい
3. 週に1~2日ぐらい
4. 月に2~3日ぐらい
5. 月に1度あるかないか

問3-1 おもな外出目的や外出先についてお教えてください(自由回答)。

問4 あなたには日ごろ親しくおつきあいされている方が、どこに、何人ぐらいおられますか(家族・親族はのぞく)。以下に記した各々の区域についてあてはまるものに○をつけてください。

同じ集落内	ア. いない	イ. 1~4人	ウ. 5~9人	エ. 10人以上
島内 (同じ集落内のぞく)	ア. いない	イ. 1~4人	ウ. 5~9人	エ. 10人以上
島外	ア. いない	イ. 1~4人	ウ. 5~9人	エ. 10人以上

問5 あなたはこれからも島にずっと住んでいたいとお思いですか。

1. ぜひ住んでいたい
2. まあ住んでいたい
3. できればよそに移りたい
4. はやくよそに移りたい

問6 あなたは島のコミュニティバスを普段どれぐらいご利用されていますか。

1. ほとんど毎日
2. 週に数回
3. 週に1回程度
4. 月に2~3回程度
5. 月に1回程度
6. 年に数回
7. 利用したことがない

問7 あなたは島のデイサービスセンター（「石の里広島」）を普段どれぐらいご利用されていますか。

1. ほぼ毎週
2. 月に2~3回程度
3. 月に1回程度
4. 年に数回
5. 利用したことがない

問8 あなたは現在、「石の里広島」以外の福祉施設（老人健康保健施設など）をご利用されていますか。

1. 利用している（→問8-1へ）
2. 利用していない（→問9へ）

問8-1 （利用していると答えた方のみ）それはどのような施設ですか。

施設の名称と、どれぐらいの頻度でご利用されているか、お教えてください。

- (1) 施設の名称 ()
- (2) ご利用頻度
1. 週に数回
 2. 週に1回程度
 3. 月に2~3回程度
 4. 月に1回程度
 5. 年に数回

問9 あなたは島の診療所をどれぐらいの頻度でご利用されていますか。もっともあてはまるものに○をつけてください。

1. 週に数回
2. 週に1回程度
3. 月に2~3回程度
4. 月に1回程度
5. 年に数回

問10 あなたは島外の病院にどれぐらいの頻度で通院されていますか。もっともあてはまるも

のに○をつけてください。

1. 週に数回
2. 週に1回程度
3. 月に2~3回程度
4. 月に1回程度
5. 年に数回

問11 あなたはホームヘルプサービスをご利用されていますか。

1. 利用している
2. 利用していない

問11-1 (利用していると答えた方のみ) どれぐらいの頻度でご利用されているか、お教えください。

1. ほとんど毎日
2. 週に4~5回
3. 週に2~3回程度
4. 週に1回程度
5. 月に2~3回程度
6. 月に1回程度

問12 あなたには、病気などで身体が不自由になったときに、自宅まで来てくれる人がいますか。

1. いる
2. いない

問12-1 (いると答えた方に) それは誰ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください(同居の方はのぞく)。

1. 子ども
2. きょうだい
3. その他の親族
4. 島の人
5. 島外の友人・知人
6. ホームヘルパー
7. 民生委員
8. その他

問13 もし介護が必要な状態になったら、あなたはどこで介護を受けたいですか。

1. 自宅で家族による介護を受けたい
2. 自宅で在宅サービスを利用したい
3. 島外にいる子どもや親族の世話になりたい
4. 特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設を利用したい
5. わからない
6. その他 ()

問14 最後にあなたご自身のことについておたずねします。

- (1) あなたの性別は
1. 男
 2. 女

- (2) あなたの年齢は
- | | |
|------------|------------|
| 1. 65～69 歳 | 2. 70～74 歳 |
| 3. 75～79 歳 | 4. 80 歳以上 |

(3) あなたは現在、どなたとお住まいですか

- | | | |
|-----------|---------|------------|
| 1. 一人暮らし | 2. 夫婦のみ | 3. 夫婦と子ども |
| 4. 自分と子のみ | 5. 三世同居 | 6. その他 () |

(4) あなたはふだん、自家用車をご利用になっていますか。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
|-----------|------------|

(5) さしつかえなければ、おたくのおよその年間収入をお教えてください

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 100 万円未満 | 2. 100 万円～200 万円未満 |
| 3. 200 万円～300 万円未満 | 4. 300 万円～400 万円未満 |
| 5. 400 万円～600 万円未満 | 6. 600 万円以上 |

問 15 島の生活事情や福祉課題について、お気になっていることなどあれば、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。お手数かけますが、ご回答済みの調査票は、同封の返信用封筒に入れて、ご投函くださいますようお願いいたします。

なお、ご希望の方には調査結果（単純集計）をグラフにまとめたものをお送りしますので、宛先と宛名をお書きください（不要の方は空欄で結構です）。

資料2 自由記述回答(問15)

- ・広島でずっと生活しているので不便と感
 じることではない。島に住み続けられ
 るよう、小中学校の校舎を利用して共
 同生活の場となる施設が作りたい。
 (青木 男性)
- ・広島にずっと住んでいる(学校で7年
 ほど外に出ただけ)ので、今のところ
 は不便はそれほど感じない。今後はわ
 からない。店がないので買い物が不
 便。丸亀で子に会ったりしたいので、
 宅配は利用したことがない。畑をし
 たり、主人が魚を釣ったりで、食って
 いくのには困らない。
 (青木 女性)
- ・お店(商品)が少ない。雨の日とか船
 がでない(でもまあ、それは電車とか
 かも一緒やから)
 (青木 男性)
- ・ぜいたくはあきらめる。みんながど
 うこう言おうとすぐ変わることはな
 い。島の生活に合わせて生活する。
 (青木 男性)
- ・廃校になった学校に老人ホームをつ
 くらしてほしい。受け皿がないのでU
 ターン、Iターンの人が少ない。フェ
 リーの運賃が高いから移動しにくい。
 (青木 男性)
- ・病気になったら困る。元気な時は不
 自由もなく住みやすい所。島の外に行
 ったら丸1日つぶれる。できるだけ島
 で解決したい。島外に行くのは大変。
 島外には極力いきたくない。島で住
 むのにお金はかからない。水道も引
 いているが、つけろといわれたから
 つけただけで、実際は皆使っていない。
 井戸水を使う。魚は取ってくるし、
 野菜も畑でとってくる。
 (青木 女性)
- ・診療所やバスも熱心にされていて、
 特に不満はない。
 (青木 女性)
- ・七部落何処とも同じかと思いますが、
 私は青
- 木何時も若い方達に見守られて居り
 ます。四季毎又時々行事は必ず声を
 かけていただき、皆でセンターに集
 り楽しい一日をすごさせていただ
 き、台風等は何気なく電話下さ
 ったり、ア、一人でないや、何時も
 皆さんが心に止めて下さっていると
 感謝しています。が、先月八月十六
 日、盆のトーロー流れの翌日です。
 朝、晩、必ず血圧を測って居ます
 が突然物凄くあがり、三時半です。
 トタン、夕べのトーロー流れて診
 療所の白神先生とお会いした事を
 思い出し、アッそうや、先生は島
 にお出でるんやといそいで玄関の
 戸をあけ、一寸早いかナァ・・・と
 考えている中に、何か本当に不
 思議な位スッとさわやかな気持に
 なり、アレッと急いで血圧を測
 ると何時も通り110台。ア、よ
 かったと思った時のうれしかった
 事。明るくなって診療所まで歩
 いて行き事情をお話しして診て
 いただくと何処も異常なく心臓も
 しっかり動いて居りますヨと云
 われた時、ハッと気がつきまし
 た。島に先生がお出でると判
 った、おもい出した時点で安心
 したんや!!と。やっぱり晩も
 こうしてお出でてもらえたら・・・
 と先生のご都合も考えず勝手な
 もんやナァと反省したり一寸
 複雑な気持になりました。私の
 毎日自分に云いさせている〇〇
 (?), きいて下さいますか。
 出来ない事を悲しんだりせず、
 出来た事をよろこび感謝して前
 向きで頑張ろう!!
 (青木 女性)
- ・今は自分でできる範囲で何とか
 生活できている。皆に心配をかけ
 たくないので、島の行事があれば
 無理をしても出ていく。年で道
 の清掃なども辛くなってきた。先
 のことを考えるが、どうしてよ
 いかわからない。
 (江の浦 女性)
- ・一人生活は夜が心配です。小学校
 中学校を今の所使用していない
 ので夜だけでも宿れると安心
 です。
 (江の浦 女性)
- ・学校の跡地に老人ホームを建て
 てほしい。島

- に帰ってきてよかった。以前は店があり暮らしやすかった。今はなくなったが、島外で買物をしてくれる人がある。(江の浦 女性)
- ・船賃が高い。救急艇は3親等までなので甥っ子が乗れない。(江の浦 女性)
 - ・(困るのは)買物。(市井 男性)
 - ・交通や緊急の時の対応は良くなってはきたが(そこは嬉しいし、評価したい)、島には高齢者ばかりで、何かしら不安がある。なので、若い力が島に欲しい。現実には難しいだろうが。(市井 女性)
 - ・特になし。元気なので考えたことがない。考えられない。(立石 女性)
 - ・店がないので島外に買物に行かなければならない。(立石 男性)
 - ・困るのは買物。週に1回島外に買物に行く。朝行って、11時10分の船で帰る。船賃が高い。通院で島外に出る人は、そのことを証明するものがあれば、半額にしてもいいのではないか。(立石 男性)
 - ・元気な時は困ったことはない。倒れたりすると困る。救急船を利用するにしても船着場まで行くための手段が心もとない。緊急時には誰に連絡するか、普段から考えている。近所の家も空き家になっているところが多い(お盆には帰ってくる)。(立石 女性)
 - ・夜に病気になったときに診療所があいていないのが心配。(甲路 女性)
 - ・新しいフェリーができてよかった。フェリーの便をちょっと増やしてほしい。(甲路 女性)
 - ・買物がつらい。歯医者とかがあれば。交通費、ガスなど不安だらけ。(甲路 女性)
 - ・買物が不便である。(甲路 女性)
 - ・坂が多くて移動がつらい。船に乗るときも下の道に降りるのに時間がかかる。杖をつけてゆっくり歩く。災害が少ないのはよい。気候的にも住みやすい。(甲路 女性)
 - ・病院の先生に島に来てほしい。ヘリコプターを近くにもおろしてほしい。砂利道を舗装してほしい。(釜の越 女性)
 - ・丸亀まで買い物に出ないと新鮮な食品が手に入らない(30~40年前には魚や野菜が釜の越のお店でも売られていた)。デイサービスではリハビリはしてもらえないので、リハビリが必要になったときに島内にリハビリ施設がない。(釜の越 男性)
 - ・高潮がきた。堤防をつけてほしい。(釜の越 女性)
 - ・今の生活にかなり満足している。(茂浦 女性)
 - ・魚はとれるし野菜も作っている。週1回生協の宅配もある。近所の人とは料理のおすそ分けをしたりすることもよくある。集落が家族みたいなもの。(茂浦 女性)
 - ・丸亀まで買い物に行かなくてはいけない。茂浦にも酒や米、雑貨を売る店が昔はあった。仕事がないので若い人が戻ってこられない。漁業ぐらいしか食べられないが、魚の値段が安くなっているし、燃料代は上がっている。リハビリ施設もあればいいと思う。小学校、中学校を他の施設として活用してほしい。(茂浦 男性)
 - ・お店が欲しい(みそ、しょうゆ、豆腐、納豆など)。食べたいときに欲しいから近くに店

があればいい。

(茂浦 男性)